

貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負債および純資産の部	
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
資産の部	4,668,143	負債の部	1,376,526
流動資産	3,781,657	流動負債	1,234,254
現金および預金	74,411	買掛金	391,235
受取手形	13,911	短期借入金	0
売掛金	1,748,007	未払金	209,427
商品・製品	5,251	前受金	93,812
材料	1,179	未払費用	130,545
仕掛品	164,467	預り金	39,585
貯蔵品	348	賞与引当金	294,000
前渡金	4,679	未払法人税等	16,632
前払費用	45,875	未払消費税	34,015
繰延税金資産	188,431	製品保証引当金	25,000
短期貸付金	1,572,708	その他流動負債	0
未収入金	8,150	固定負債	142,271
その他流動資産	1,000	退職給与引当金	142,000
貸倒引当金	46,766	リース債務	271
固定資産	886,485		
<有形固定資産>	112,034		
建物・構築物	62,337		
車両運搬具	0		
工具器具備品	35,132		
リース資産	256		
建設仮勘定	14,308		
<無形固定資産>	262,325	純資産の部	3,291,616
施設借用権利金	6,810	資本金	360,000
電話加入権	14,926	資本剰余金	0
ソフトウェア	240,588	利益剰余金	2,931,616
建設仮勘定	0	利益準備金	90,000
<投資その他の資産>	512,125	別途積立金	2,770,180
投資有価証券	11,028	プログラム等準備金	3,744
子会社株式	25,000	繰越利益剰余金	67,691
繰延税金資産	139,836	(うち当期純利益)	(53,092)
施設借用保証金	320,196	土地再評価差額金	0
その他の投資	36,924	株式等評価差額金	0
貸倒引当金	20,860	自己株式	0
	4,668,143		4,668,143

(注)

- 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示している。
- 重要な会計方針については別記している。
- 関係会社に対する短期金銭債権
関係会社に対する短期金銭債務
- 有形固定資産の減価償却累計額
- 取締役に対する短期金銭債権

986,143千円
120,595千円
361,138千円
1,000千円

< 個別注記表 >

重要な会計方針

1. 棚卸資産の評価基準および評価方法は、材料は先入先出法、仕掛品は個別原価法で行っている。
(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法による算定)
2. 有価証券の評価基準および評価方法
市場性のあるもの……該当なし
市場性のないもの……取得価額
市場性のない株式について、発行会社の財政状態の悪化により実質価額が著しく低下した時は相当の減額をし、評価差額は当期の損失として処理している。
3. 固定資産の減価償却方法
(1)有形固定資産……定率法(税法に定める耐用年数による)
(2)無形固定資産……定額法(同上)
(3)リース資産……所有権移転のファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用。
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用。
4. 貸倒引当金は、一般会社については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権および破産更生債権等については財務内容により計上している。
5. 賞与引当金は当期の支給期間に係る予想支給額を計上している。
6. 製品保証引当金は、製品等の品質保証に係る損失に備えるため、過去発生実績額基準により計上している。
7. 退職給与引当金は、従業員の退職により支給する退職金に充てるため、自己都合による期末要支給額の100%を計上している。なお、調整年金制度により支給される退職一時金相当額を期末要支給額から控除している。
8. 費用・収益の計上基準
売上……現物を納品または、役務提供を終了し、かつ納品書類による検収基準
仕入……現物を受領または、役務提供を終了し、かつ納品書類による検収基準
9. 消費税については、税抜き方式による会計処理を行っている。
10. 税効果会計を適用している。

会計処理の変更

該当なし

特別配当の実施

平成21年9月24日の臨時株主総会の決議により、親会社のオムロン株式会社に特別配当を実施した。

配当金総額: 1,199,520,000円

一株あたりの配当額: 1,666円

重要な後発事象

当社と子会社のオムロンソフトウェア九州株式会社は、平成22年4月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、オムロンソフトウェア九州株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行う。この合併より、当社がオムロンソフトウェア九州株式会社の権利義務を承継して存続し、オムロンソフトウェア九州株式会社は解散する。

資産の額: 475,054千円

負債の額: 225,972千円